

社会奉仕委員会

社会奉仕委員会 統轄委員長 戸高健司(新座こぶし RC)

P.D.G. 鈴木秀憲(吹上 RC)

地域社会奉仕委員会

委員長 齋藤大祐(鶴ヶ島 RC)
副委員長 市川 大(鶴ヶ島 RC)
委員 吉原正洋(坂戸さつき RC)
委員 滝沢文夫(入間 RC)
委員 松岡由浩(行田さくら RC)
委員 向井宏倫(鶴ヶ島 RC)
委員(ブライダル)津久井大雄(寄居 RC)
委員(ブライダル)半田 太(行田さくら RC)

子ども家庭委員会

委員長 井上敏夫(岡部 RC)
副委員長 下境将寛(深谷 RC)
委員 米原恭淳(川越 RC)
委員 高橋克安(朝霞 RC)
委員 小松和弘(行田 RC)
委員 田中快枝(入間 RC)

アイバンク委員会

委員長 八木拓也(川越 RC)
副委員長 晝間和弘(入間 RC)
委員 小林群司(行田 RC)



地域社会奉仕委員会

「希望」とは、人や社会に活力をもたらすこと、言い換えれば、より多くの人々と価値観を共有し、ロータリークラブの全活動が活発になることだと考えられます。活動の継続と変化と言えるかもしれません。

地域社会奉仕委員会では、活動を通して、地区内各クラブが行う社会奉仕事業の継続と変化をもたらすために必要な支援をしたいと考えております。

また、コロナ禍により活動が停滞いたしましたブライダル事業に関しましても継続と変化を念頭に置き、社会問題となっております少子高齢化社会に対し、少しでも希望が見いだせるように取り組んでまいりたいと思います。

子ども家庭委員会

子供がどのような地域、家庭に生まれても、必要な支えを得て、その地域や家庭で育っていける社会を実現するためには、それぞれの地域ごとに固有の努力が求められます。私達ロータリークラブが、現在問題となっている子供の貧困、子供の虐待、子供の孤立などの諸問題に取り組む第一歩として、これまで地区内で行われてきた子ども支援の活動を地区内クラブに広める活動をしてまいります。同時に、各グループ会長幹事会やクラブにおいて諸問題について考えていただき、地域と共にできる持続可能な子供への支援を各クラブで実行していただくことを要請してまいります。

アイバンク委員会

アイバンク委員会では、角膜移植を望んでいる人々に「希望」を与える、献眼登録の推進および角膜移植の重要性の啓蒙活動を行って参ります。

角膜移植は他の臓器移植と異なり、自然死下での角膜提供ができます。脳死下でしか提供出来ない他の臓器移植と全く違うものです。

また、角膜移植手術は移植技術が確立していることから、多くの移植ニーズがありますが、角膜提供者は年々大幅に減少しており、角膜移植を望む人々の治療が進まないというのが現状です。

そこで、多くの方が感じている献眼への誤解を解くべく、角膜移植の実際と移植の必要性を理解していただけるようなプログラムを作成し、セミナーおよび各クラブを訪問しての卓話を展開してまいります。